

田んぼの学校、今年も元気に田植え



小学校の田植えが行われました(6月5日)

6月5日、東川小学校の5年生の児童65人が、西2号北2の青木哲也さん(66)のほ場で田植えをしました。毎年行っている「田んぼの学校」が今年もスタート。子供たちは素足になつて約5アールの田んぼに入り、20センチメートルほどに育った苗を手植えました。児童の中で農家の家庭の子はわずかに1人だけ。今や農業を知らない子供たちが増えていきます。「一人で120本も植えたよ」と田植えの成果を披露する子、ひざ上まで浸かる田んぼに足をすくわれ、しりも

ちをついて泥だらけの子も大はしゃぎ。元気を歓声が田んぼに響きました。除草・害虫防除作業(7月中旬)、稲刈り(9月下旬ごろ)も体験し、新米を学校給食で食べる予定です。「稲刈りの時に生米のみをむいてその場で新米を炊き、みんなに食べてもらうつもり」と青木さんは本場の米の味も知ってもらうことにしています。この日は羽衣公園内にある東川中学校の学校田「羽衣田」でも田植えをしました。

「羽衣田」は、今年が最後の米作り。1年生88人が「ゆめぴりか」の豊作を祈つてしっかりと苗を植えました。

竹田会長「四季の彩り」展で今年も来町



日本写真家連盟(東京、竹田正明会長)の第26回日本写真家連盟展「四季の彩り」展が6月18日から文化ギャラリーで始まりました。東川展の開催は7回目の恒例展になりました。竹田会長は毎年来町し、写真の魅力をも町の皆さんに伝えています。昨年と同連盟公募展も始まり、今年は350点の応募があつたそうです。その中から入賞、入選した42作品を展示しました。多くのデジタルカメラで

の撮影作品が集まったそうです。「デジタルカメラが普及してきたので、今年からデジタルカメラを使う方でも連盟へ入会できるようになります」と入会希望者を募っています。同連盟は、中・大判フィルムカメラ(フィルムサイズが4×5、6×7、6×4.5版など)を使用して自然を撮影するアマチュア写真家の会。全国約230人の会員を擁しているそうです。

親子連れが植樹、4年目の「ノレジ森」のふくらみ

6月1日、コープさつぽろ(札幌)が東3号北6線の町有林で「コープの未来(あした)の森づくり」の植樹祭を行いました。旭川市内から参加した組合員親子約40人が来町しました。昨年に続いて気持ちいい晴天が広がり、旭岳の残雪も青空にくっきり。スコップ持つ手も軽やかに、準備した約20坪にナナカマド、イタヤカエドそれぞれ200本ずつの

苗木を植えて大きな森に育つよう願いを込めました。二酸化炭素の削減に貢献しよう、と始めた社会貢献の一環。買い物時にレジ袋を使わない「ノレジ運動」で、1枚につき0.5円を積み立てた資金を元に4年目の植樹。全道10カ所で5年間の活動を続けています。



東中吹奏楽部、ニューヨークジャズと共演



二部に分け、最初に登場した東中吹奏楽部が十八番の「エル・クンバンチエロ」で共演。本場ニューヨークジャズの息吹に触れて演奏も一段と良かつたよう。ラトビアから国際交流員として来町しているウナ・ヴォルコヴァさんもシンガーとして5人と共演。1950、1960年代のジャズの名曲の数々を歌つて満席の約400人から喝さいを受けました。メンバーは、翌日町内の家具製造会社、アーリー・タイムズ・アルファ(青森宏悦社長)でも特別コンサートを開催。旭川市内などから満員の観客が会場に詰めかけました。

山のまじり、ヌプリ「ロカムイン」で安全祈願



6月16日、大雪山(標高2千291m)の夏山シーズンが幕を開けました。ふもとの旭岳温泉、旭岳ロープウェイ山麓駅と青少年野営場(標高千100m)で夏山開きの祈願祭と、山の神に夏の安全を願うアイヌ民族の儀式「ヌプリロカムイノミ」を行いました。東川中学校の大雪山自然愛護少年団員、地元旭岳温泉街の関係者ら約80人が出席。祈願祭で山の無事と無事故を

願いました。メインの行事は、野営場が会場のヌプリロカムイノミの儀式。午後7時過ぎ、正装に着替えたチカツプニアイヌ約20人が観光客と一緒に会場に入場して大かがり火に火をつけ、山の安全を祈つて山の神々に舞いを捧げました。

故金成さん、旭日単光章を受章伝達

町議会議員として地方自治に貢献した32区、故金成隆夫氏(今年2月、81歳で逝去)が旭日単光章を受章し、6月18日、正代夫人(80)が出席して役場で受章伝達が行われました。1979(昭和54)年から5期20年間にわたって町議会議員を務め、産業経済常任委員会副委員長、議会副議長などを歴任しました。

1975(同50)年から1984(同59)年まで町農業共済組合の監事理事、1983(同58)年から1987(同62)年まで4年間議会議員選出の町農業委員会委員、1995(平成7)年から1999(同11)年まで4年間議会議員選出の町監査委員をそれぞれ歴任。地方自治、町農業の発展に貢献しました。

